

長崎県新幹線開業効果拡大推進本部会議（第2回）概要

日時 ： 令和3年11月16日（火） 10:00～11:50

場所 ： 出島メッセ長崎 コンベンションホール

1. 行政の取組について

別添資料により説明。

2. 講演「先駆け！長崎。 新幹線開業を二度味わう！！」

ホテル&レジデンス南洲館 取締役 橋本 龍次郎 氏

- 二度の新幹線開業を経験する中で、①隠れている魅力を発掘し「見つける」、②創意工夫や切磋琢磨で「磨く」、③目を奪う、夢中にさせる「魅せる」の3つの「み」覚を心がけた。
- 新幹線で速く来てもらい、ゆっくり滞在してもらい「クイック&スロー」のために、いつ、どこに行っても地元民から観光客まで楽しめる仕掛けづくりを行い、お客様に喜んでもらえた。
- 自分の心が満たされ、溢れ出たものがおもてなしやお客様の喜び、笑顔に繋がる。部分開業を支えるために一番必要だったのは、飲食店や交通機関など、最前線の方々の笑顔であった。
- 様々な団体や会社が集まり、協賛もいただき、先輩方が応援してバックアップしてくれた。みんなで集まり、汗をかいて、開業に向けて取り組んだ結果、感動が生まれ、それが自分たちの活力になり、未来に繋がっていった。

3. 意見交換

○主な意見

- 新幹線開業に向けた地元の熱気やコンテンツを全国に発信するのがJR九州の役目だと考える。
- 部分開業では時間短縮効果が少ないという意見があるが、30分の短縮でも利用者にとっては凄いこと。理解を求めていく必要がある。
- おもてなし、ホスピタリティについては「さるく」で経験済みであり、全国の先進地であるというプライドをもって取組んで欲しい。
- 2025年の大阪万博に向けて、広島と長崎を結ぶ平和の新幹線として世界に発信できると思う。地元磨きと併せてこうした俯瞰した発想も必要。

○平田副知事（まとめ）

- 今後、気運醸成から具体的なおもてなしと受け皿づくりを進める段階に行くということを改めて感じた。
- 開業まで残された時間、県内の力を結集して、受入体制の構築をしっかりと進め、お客様をお迎えする準備をしていきたい。

県の新幹線開業に向けた取組について



1. 令和4年秋開業！西九州新幹線開業シンポジウム

日時：令和3年10月9日（土）

場所：諫早文化会館

概要：【講演】先行事例における地元の取組等〔金沢ニューグランドホテル 庄田社長〕

- 金沢市内民間ホテル8社の経営者で「金澤8家」を立ち上げ、国内だけでなく海外をターゲットとしたトップセールスを実施し外国人観光客の増にも繋がった。
- 新幹線開業による効果は思いがけないほどあったが、開業効果は、何もなければ一時的なものであり、開業をきっかけと考えて、今あるものの磨き上げや足らざるものを補う取組を行った。

①国内での誘客、②海外でのトップセールス、③金澤再発見

④夜のおもてなし、⑤グルメ開発、⑥お土産開発、⑦応援プロジェクト

【パネルディスカッション】

- 観光業者だけでなく、一人一人の暮らしが魅力的な地元をつくる。楽しいことがあるところには、人が集まる。自分自身が楽しみながらまちづくりを。
- 旅行形態の変化に合わせて、量から質の観光への転換が必要。滞在型またはリピーターを確保するために必要なことは、県民が一声かけるなどお客さんに寄り添った寛容なおもてなしや地元での貴重な経験ができる体験プログラムなど。

2. 地域活性化シンポジウム 長崎が近づく、西九州に新幹線がやってくる

日時：令和3年11月2日（火）

場所：JR九州ホール（福岡市）

概要：【講演】九州新幹線全線開業から10年の効果〔九州経済調査協会 岡野事業開発部長〕

- 全線開通の結果、熊本県、鹿児島県では広域交流の新たな需要の創出により交流のパイ自体が拡大するとともに、新幹線沿線ではない宮崎県でも交流人口が拡大している。

【パネルディスカッション】

- 新幹線は単なる移動手段であり、観光地はリピーターをどれだけ持てるかが大切。ホンモノのまちづくり、ホンモノのおもてなしがリピーターを生む。
- 佐賀と一緒にやる、熊本と一緒にやるというように、協力し合って、足りないところは出し合うなど、開業を契機に広域的な連携を強め、西九州、九州全体に開業効果を拡大する。
- 新幹線開業で観光客が増えるのは当たり前であり、それをいかに持続していくかが大切で、そのためには、ホンモノを目指すことが必要。リピーターを確保するために、発掘して、磨いて、伝えることが重要。

3. 関西・中国圏等広報プロモーション

実施時期：10月30日（土）～ 約1カ月間

実施場所：大阪駅、京都駅、岡山駅、広島駅、博多駅等

実施概要：誘客のターゲットエリアと考えられる主要エリア（関西・中国・福岡等）において西九州新幹線や長崎県の魅力などについて、電車や駅でのデジタルサイネージ等を活用した広告や、大阪環状線でのラッピングトレインなど集中的なプロモーションを実施。

4. 島原半島予約制乗合タクシーの実証運行

実証期間：9月～12月（土日祝日のみ運行）

ルート：①長崎駅～小浜～雲仙～真砂（原城跡）～口之津港

②諫早駅～小浜～雲仙～真砂（原城跡）～口之津港 ※1日各1往復

料 金：①長崎駅～真砂（原城跡）・口之津港 3,500 円

②諫早駅～真砂（原城跡）・口之津港 3,000 円

5. 島原半島フリーきっぷの実証販売

実証期間令和3年10月～令和4年2月（販売及び利用は土日祝日のみ）

適用エリア：JR九州：長崎駅～諫早駅

島原鉄道：島原半島エリアの鉄道・島鉄バス・島鉄フェリー

料 金：1日券 2,500 円、2日券 3,500 円

6. 長崎県新幹線開業対策事業費補助金

補助概要：民間団体等の地域の魅力づくりや既存観光資源の磨き上げ、心のこもったおもてなし等の受入体制構築に向けた取組を促進するため、市町との協調補助による支援

補助率：県 1/3、市町 1/3、事業主体 1/3（県 3/12、沿線 3 市 5/12、事業主体 1/3）

補助実績：令和2年度は2市2町が、令和3年度は3市1町が活用

7. 西九州新幹線（長崎～武雄温泉）開業準備実行委員会

概要：開業効果を県内全体に拡大させるため、県内経済団体青年部と沿線市を中心とした実行委員会を設立し、若手人材による民間の主体的な取組を推進

活動：4つの部会（イベント、広報、おもてなし、飲食・物産）を設置